

質問のスキル

1. 質問のメリット

- ①
- ②
- ③
- ④

2. 質問のポイント

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

3. 質問のポジション

		自分が聞きたい			
相手が 話した くない	[]	[]	「失敗の原因は？」	「成功の秘密は？」	相手が 話したい
	[]	[]	「最近どうですか」	「苦労したことは？」	

自分は聞きたくない

		事実（外面）			
深い	[]	[]	「なぜそうなのか？」	「どうなっているか？」	浅い
	[]	[]	「本心はどうか？」	「どう思うか？」	

気持ち（内面）

具体的

非本質的	[]	[]	本質的
	「いつも何してる？」	「今、したいことは？」	
	[]	[]	
	「犬も夢を見るのか？」	「人生の目的は？」	

抽象的

4. 質問の種類

「ハイ/イエ」で答えられる。 答えが限定される。 情報の収集。	「ハイ/イエ」では答えられない。 さまざまな答えが期待される。 詳しく聞く、具体的なものを引き出す。
○答えやすい。 ×話し手は受身的になる。 ×責められている感じになる	○話し手が主体になる ○自分の感情や考えを整理できる ×面倒くさい
「あなたは高校生ですか？」 「あなたは何歳ですか？」	「～についてどう思いますか？」 「具体的にどんなことがありましたか？」

はっきりと質問の形をとっている。 明確な答えを求められている感じ。 答えなければならないというプレッシャー。	はっきりとした質問の形をとっていない。 すぐに答えなくてもよい感じ。 自発的に答えたくなる。
「明日も雨が降りますか？」 「それは本当ですか？」 「今言った覚悟って何ですか？」 「それから、どうしたのですか？」 「この問題を教えてくださいませんか？」	「明日も雨かなあ……」 「それが本当だといいいんだけど……」 「覚悟……」 「それから……」 「この問題はどう考えてもわからない……」

5. 質問の広がりや深まり

